

令和8年5月28日

第1回世田谷区資源危機対策本部 次第

- (1) ホルムズ海峡封鎖に伴う区への影響調査結果について
- (2) 国・東京都の動き、検討状況について
- (3) 今後の区の動きについて
- (4) その他情報共有すべき事項

ホルムズ海峡の事実上封鎖に伴う区への影響調査結果 概要

調査期間 5月7日～5月22日

1. 調査の概要

原油・ナフサ等の供給制約や物流障害を背景に、区内所管課・外郭団体及び関係団体等を対象に影響を調査。
本資料はとりまとめた結果を影響類型別に分類し、整理している。

総回答件数

720 件

主な回答経路
区所管課／外郭団体／指定管理者／委託先事業者／関係団体

回答が多い分野: 建築・工事・修繕 205件(防水・塗装・電気工事など)
保育・子ども・教育 162件

■ 調査で確認された影響の7類型(次ページに具体例あり)

① 価格・予算増

インキ20～30%上昇／シンナー75%値上げ
／肥料15%上昇

② 供給不足・欠品

ニトリルグローブ欠品／溶剤塗料・防水材の出
荷停止

③ 納期・工期遅延

ユニットバス受注停止／工期延長・着工延期が
多発

④ 事業継続・サービス低下

保育園消耗品の数日切れリスク／健診・診療への波及

⑤ 契約・入札リスク

積算単価乖離による入札不調リスク／見積有効
期限切れ

⑥ 区民・利用者負担

補助金申請の停滞/建物等の改修需要減退

⑦ 安全・衛生リスク

不燃ボード不足／医療材料欠品・誤食リスク

△ 件数の多寡＝重要度ではない

件数は回答母集団の偏り(建設・防水団体／保育施設の回答比率)を強く反映する。

2. 影響類型ごとの具体例一覧

7類型それぞれについて、代表的な事例は以下のとおり。

影響類型	説明	具体例	
① 価格・予算増	原材料・燃料・物流コスト上昇による価格高騰	・ごみ袋 16.7%値上げ ・ビニール・フィルム類 30～50% 値上げ ・電気代基本料金的大幅値上がり ・ディスプレイ検査着 年度内 15% 上昇見込み	・シンナー系溶剤 75% 値上がり ・塗料・シーリング材 3～5割値上げ ・印刷インキ価格 20～30% 上昇 ・肥料(尿素系)15% 上昇／その他 5%～
② 供給不足・欠品	メーカー出荷停止・受注停止・在庫枯渇	・ニトリルグローブ既に欠品／医療用マスク一部欠品 ・ユニットバス・トイレ出荷制限 ・アクリルケース・ファイルボックス販売停止可能性	・ウレタン防水材の全面出荷停止 ・溶剤塗料の新規受注停止(複数メーカー) ・低圧耐火ケーブル(600V EM-FP等)受注停止
③ 納期・工期遅延	発注後も入荷時期・金額・数量が不確定	・公共施設改修工事の入札不調・工期遅延 ・本庁舎東・西2期棟開設用消耗品の納期遅延 ・ICT機器・保守部品の納期遅延(半導体不足) ・ハウス施工・フィルム張替の工期延長	・ユニットバス等の新規受注停止で工期延長 ・材料入荷待ちで着工延期・契約解除 ・ビニールハウス新設・張替工事の遅滞・中止 ・防水工事の中断・新規請負不可
④ 事業継続・サービス低下	事業者の業務継続困難・公共サービス水準低下	・温水プール加温・換気の運営費圧迫 ・イベントの運営方法影響 ・区民改修需要の減退(住宅相談件数減少)	・「材料が入らないので仕事できない」(塗装業) ・売上高が当初想定を大きく下回る状況 ・ECサイト商品パッケージのデザイン変更 ・イベント出展抑制・広告費削減
⑤ 契約・入札リスク	見積有効期限切れ・予定価格乖離・入札不調	・起案時期と入札時期のタイムラグで積算単価乖離 ・入札不調・工事中止リスク拡大 ・補助金申請にかかる「対象期間内工事完了」要件未達	・出荷時金額での販売で見積りすべて変更 ・受注見通しが立てられず契約断念 ・公共工事の積算単価引上げ要望多数
⑥ 区民・利用者負担	区民の改修需要減退・購買意欲低下・利用者負担増	・区民断熱改修意欲低下によるCO2削減停滞	・「今は改修を行う時期ではない」判断の拡大 ・印刷物の購買意欲減退の可能性 ・テナント各社の収支悪化が予想
⑦ 安全・衛生リスク	人命・健康・安全に直結する欠品・代替不能	・医療衛生材料の欠品(健診・診療への影響) ・保育園衛生用品 ・不燃ボード不足(消防検査不可) ・防災備蓄物資・発電機燃料の確保困難	・防水材欠品による雨漏り・建物劣化リスク ・塗料欠品による塗装劣化進行 ・事業者BCPの観点で在庫確保困難